

～会議録抜粋～ 会議録より抜粋し、「一問一答形式に編集」したもので正式な会議録ではありません。

===平成25年第2回定例会 一般質問===

森西正議員

3 新幹線を活かしたまちづくりについて

【質問1回目】

○森西正議員 新幹線を生かしたまちづくりについてでございますけれども、森山市長は1期目の選挙において、淀川と新幹線基地を生かしたまちづくりと公約され、どのようなまちづくりを進めていくのかという質問を、平成22年第3回定例会にてさせていただきますました。

新幹線基地につきましては、これまで何度かJR東海に対して何らかの打診をしておりますが、治安、安全面から困難との回答に終始しているとの答弁をいただいております。

その後、状況の変化はあるのか、お聞きしたいというふうに思います。

【質問1回目への答弁】

○乾市長公室長 新幹線を生かしたまちづくりについてのご質問にお答えいたします。

これまで、新幹線を生かしたまちづくりの取り組みとして、市民への施設開放、一般公開について、JR東海にたびたび申し入れを行ってまいりましたが、ご指摘のとおり、治安及び安全面を考えると困難であるとの回答に終始されておられます。

施設開放以外の活用につきましては、JR東海のご協力のもと、新幹線のネームバリューや魅力を生かしたナンバープレートを作成することにより本市のPRにつなげ、他市にはない摂津市の魅力発信に寄与していただいたところでございます。

市のPR、魅力づくりについては、今後も引き続き取り組んでいくことが大切であると認識いたしており、本市に所在する新幹線基地はJR東海の西の拠点として建設され、本市に所在する大規模な社会資本として他市にはない摂津市の自慢できる施設でございます。

また、観光資源としての有用性も考えますと、市のPR、魅力づくりを進めていく上で、

新幹線基地の活用は必要であると考えております。

今後、他市に所在する新幹線基地の公開状況も参考とした上で、何らかの形で市民開放や一般公開ができないか、申し入れを検討するとともに、さまざまな活用手法を検討してまいりたいと考えているところでございます。

【質問2回目】

○森西正議員 新幹線を生かしたまちづくりについてですけれども、以前、摂津市の小学校は新幹線鳥飼基地がある地元ということで、鳥飼基地を社会見学させていただいておりましたが、数年前にJR東海から見学のお断りがありました。鳥飼基地の社会見学は他市の小学生が体験することができないすばらしい学びの場であったというふうに思います。

JR東海に復活させていただくように要望すべきではないかと思っておりますけれども、見解をお聞きします。

【質問2回目への答弁】

○登阪次世代育成部長 小学校の新幹線基地見学会の復活を要望してはどうかのご質問にお答えいたします。

平成17年度末、JR東海関西支社から教育委員会のほうへ、それまで実施していただいていた小学校の鳥飼新幹線車両基地の見学会を、平成18年度からは実施しない旨の説明がございました。

小学校へ連絡した後も、見学会の継続を希望する声が多く、教育委員会といたしましても、平成18年9月に見学会復活の要望を提出いたしております。

議員ご提案のとおり、新幹線基地の見学は、子どもたちに夢を与えると同時に、摂津市に対する愛着へとつながると考えますので、今後、市長部局とも連携を図りながら、改めて要望書の提出について考えてまいります。

～会議録抜粋～ 会議録より抜粋し、「一問一答形式に編集」したもので正式な会議録ではありません。

===平成25年第2回定例会 一般質問===

森西正議員

3 新幹線を活かしたまちづくりについて

【質問3回目】

○森西正議員 新幹線を生かしたまちづくりについてですけれども、平成18年9月に新幹線鳥飼基地の見学会復活の要望をされたという答弁でございますけれども、JR東海から鳥飼基地の見学会実施をしない旨の説明があったときに、教育委員会は「はい、わかりました」という返事を即答されました。私は、その返事を耳にいたしまして「はい、わかりましたとはどういうことなのか」ということで、社会見学を復活していただくように速やかにJR東海に要望すべきであるというふうに申し上げまして、それから教育委員会がJR東海に要望されたというのが、これは実の経緯でありまして。

これは古い話になりますけれども、昭和45年から47年に鳥飼基地に隣接する新在家、鳥飼八町付近が市内で一、二番の地盤沈下を記録した。鳥飼基地における地下水のくみ上げによる地盤沈下が要因ではないかという問題が生じました。昭和48年には新幹線公害問題が起こり、新幹線の沿線自治会により、摂津市新幹線被害者同盟が結成され、減速運転要求運動へと発展していきました。

市と国鉄、新幹線並びに鳥飼基地とはさまざまな問題があり、この地元の小学生への配慮として、これは見学を受け入れたのではないかというふうには私は思っておるんですけれども、市長にお聞きしたいというふうに思います

当時、市長は市会議員の立場であったというふうに思います。

摂津市と国鉄、新幹線並びに鳥飼基地との歴史はよくご存じだというふうに思いますけれども、市長の新幹線を生かしたまちづくりについて、この歴史的な観点も含めてお考え

をお聞きしたいというふうに思います。

【質問3回目への答弁】

○森山市長 森西議員さんの3度目の質問にお答えをいたします。

以前、私が、皇太子殿下とお会いする機会があったことがあるんですけれども、そのときに「摂津市というのはどこにあるんですか」とやっぱり聞かれたんですね。どういうふうにご答えようかな、戸惑ったんですけれども、そのとき「皇太子殿下、一年に何度か摂津市を通っておられるんですよ」と、ほんならひょっとこっちを向かれたんですけれども。実は、ほとんど東京から西に下られるときには必ずといっていいほど、新幹線、一年に何度か乗られると。そういうことで、「大阪に着かれるちょうど5分ぐらい前のところに、また、逆に大阪から東京に行かれるときの5分ぐらいたったところに広大な新幹線の日本で初めての車庫があるんです。もし、今度通られるとき、ちょっと窓から外をごらんになっていただけたら」というふうな話をしたんですね。「これが鳥飼基地といいます。ここが摂津市なんです。」と言いますと、うなずかれたんです。

どういうふうにとられたかわかりませんが、そういうことでこの新幹線の鳥飼基地、これは摂津を全国に発信する象徴的といえますか、貴重な1つの施設ではないかと思っております。

そういうことで、私は就任時に、この施設を生かしたまちづくり、それを生かさぬ手はないということで話したことはそのとおりでございます。

当初、地域の皆さんの乗りおり口といたしますか、新幹線の鳥飼駅、これを何とかできないだろうか、また、子どもたちの夢であります列車の観覧席を何とかしてつくりたい、そ

～会議録抜粋～ 会議録より抜粋し、「一問一答形式に編集」したもので正式な会議録ではありません。

===平成25年第2回定例会 一般質問===

森西正議員

3 新幹線を活かしたまちづくりについて

ういうことで何度も何度も陳情したことを覚えておりますけれども、この問題は私だけではなく、もう、ずっとずっと前から地元出身の代議士初め、多くの関係者の皆さんが国に対して何度も何度も働きかけていただいた経緯がございます。

残念ながら今日まで結果が出てないことは申しわけないんですけども、先ほど言われましたように、公害問題、地下水の問題等々、新幹線をめぐってはいろんな問題、この数十年間の間にあったと思います。その都度、やっぱり新幹線も地域に理解されるといいますか、地域と一緒にあった鉄道づくりということで、非常に地域に対する根は熱かったように思います。

その後、全国的に新幹線が、当時は東海道新幹線だけだったんですけども、全国的に東海道新幹線が普及してくる中、人も変わり、基準も変わり、何か以前とは違った冷たさと言ったら怒られますけれども、感じる機会がままございました。

ではありますけれども、昨今また、規制緩和が急ピッチでございます。そういう意味ではまだ諦めておるわけではございませんが、何とかしてご指摘の子どもたちの参観でも公開していただけるように等々を含めました、摂津市がどういうことをすればJR東海が協力をしていただけるのか、粘り強く可能性を探っていきたいと思います。